

2018年度

大学院学生募集要項

修士課程 [第1次・第2次] 募集

英語学専攻
ロシア語学専攻
中国語学専攻
イスパニア語学専攻
国際関係学専攻
日本アジア言語文化専攻



Kobe City University of Foreign Studies

公立大学法人 神戸市外国語大学

大学院外国語学研究科

目 次

■外国語学研究科（修士課程）概要	1
------------------------	---

■募集要項（一般選抜）

1. 募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 事前資格審査	4
4. 外国人特別選抜	5
5. 出願手続	5
6. 選抜方法	7
7. 合格発表	8
8. 入学手続	8
9. 入学必要経費	9
10. 入学時期	9

■募集要項（社会人特別選抜）

1. 募集人員	10
2. 出願資格	10
3. 事前資格審査	11
4. 出願手続	11
5. 選抜方法	12
6. 合格発表	12
7. 入学手続	12
8. 入学必要経費	12
9. 入学時期	12

■長期履修学生制度について	13
---------------------	----

■履修コース及び単位取得方法	14
----------------------	----

■添付書類

- ・入学願書
- ・入学資格審査申請書(該当者のみ)
- ・モナッシュ大学 ダブル・マスタープログラム応募用紙（希望者のみ）
- ・長期履修申請書（希望者のみ）
- ・受験票及び払込受付証明書貼付書
- ・払込取扱票
- ・受験票送付用封筒

個人情報の取扱いについて

本学大学院研究科では、出願書類等に記載されている氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報、入学者選抜、合格者発表および入学手続き等を行うために利用します。

取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

外国語学研究科(修士課程)

教育理念

1. 人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成
2. 幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成
3. 社会人に対する高度な専門教育の提供
4. 世界に開かれた大学院教育と国際的な学術交流の促進

アドミッション・ポリシー

時代が大きく移り変わるなか、これまで世界を支えてきた秩序、体制が揺ぎ、新たな国際環境が生まれつつあります。絶えず変化する環境のなかで、それに応じた人材が社会に必要とされる一方、人文社会科学の価値も問い直される時期にきています。

本学では、こうした時代と社会の要請に応え、新しい知の体系の創造を担うことのできる幅広い学識と国際感覚を有する学術研究者・教育者、および高度専門職業人の育成を教育の基本方針とし、修士課程と博士課程を設置しています。

大学院入学者選抜試験では、人文社会科学の各分野における専門的知識を有するとともに社会が直面する課題に幅広い関心を持ち、国際的な場でも活動しうる外国語能力にすぐれた人材を求めます。

○英語学専攻(語学)

「英語」という言語がどのようなものであるのかを探る、現象の記述や実験を中心とした実証的な研究や、さまざまな枠組みでの理論研究を行うための指導を行っています。

【求める学生像】

1. 英語や日本語をはじめ、人間の持つ言語一般について強い興味を持つ学生
2. 論理的思考力、日本語および英語の読解力と表現力、情報リテラシーを備えている学生
3. 自分で問題を設定し、それを解決するための手だてを探索していくことができる学生

○英語学専攻(文学)

英語の高度な運用能力を身につけると同時に、外国語大学の特性を生かした複数の外国語との比較などを通して、「言葉」に対する感受性の練磨を目指します。具体的には、さまざまな文学作品をていねいに読みこみ、作品の中の「言葉」の働き方を的確に見極めることで、作家の主張を理解するとともに、その背景にある社会の風土や歴史への深い認識を獲得することを目標とします。

【求める学生像】

1. 英語圏の文学・文化に強い関心をもつ人
2. 英語をはじめとする「言葉」一般に対する飽くなき好奇心と粘り強い探究心を備えた人
3. 異文化について得た知識を、積極的・意欲的に社会に還元し、活用しようとする姿勢をもつ人

○英語学専攻(通訳翻訳学)

通訳翻訳のプロセスについて理論的考察を深めるとともに、実際の具体的な通訳翻訳行為を観察・分析し、自らの通訳翻訳の実践力も高めることを目指します。通訳翻訳の対象となる言語は日本語と英語を基本とします。

【求める学生像】

1. 日本語、英語を使ったコミュニケーションにおいて十分な表現力、理解力を有する者
2. 言語学、心理学、社会学などの知識にも関心を持つ者

○ロシア語学専攻

高度なロシア語運用能力と幅広い教養、そして高い専門知識を持ち、日本におけるロシア研究をリードするだけでなく、国際的な舞台でも学術研究に重要な貢献をなしうるような人材の育成を目指します。

【求める学生像】

1. 自らの研究対象を徹底的に解明しようとする強い探求心と意志を持つ人。
2. 研究者としても一市民としても高い倫理観を有する人。
3. 既存の価値観にとらわれない柔軟性を持ちつつ、同時に謙虚に、地道に研究を続けることのできる人。

○中国語学専攻

中国語圏の言語・文学・文化に対する高度な専門的知識と幅広い教養を持ち、全世界的な広い視野をも兼ね備えたシノロジストを養成することを目指します。そのため、自らが設定した研究課題を深く掘り下げ、徹底した分析によって問題を解決に導くとともに、それを論理的に表現するための能力を身につける訓練を行います。

〔求める学生像〕

1. 中国語圏の言語・文学・文化などをより深く掘り下げて学びたい人。
2. 自らが設定した研究課題に意欲的に取り組むとともに、関連する知識を貪欲に吸収しようとする人。
3. 将来、大学院で習得した専門的知識を活かして社会に貢献しようと考えている人。

○イスパニア語学専攻

高度なスペイン語(イスパニア語)運用能力を基礎として、創造的な研究を行うことを目指します。スペイン語およびその背後に広がる文化的背景についての広範かつ専門的な知識を習得するとともに、人文社会科学の最先端を見据えた独創的な研究に取り組み、その成果を広く国内外に発信することのできる人材の育成を目標としています。

〔求める学生像〕

1. スペイン語およびスペイン語圏に関する研究に幅広く関心を持つ人。
2. スペイン語を中心とした言語運用能力によって学術的知見の還元を目指す人。
3. 旺盛な知的好奇心をもって、研究課題に取り組むことのできる人。

○国際関係学専攻

国際社会の動きを幅広い専門的視点(法学・政治学、経済学・経営学、文化論)から捉え、国境を越えて広がる複雑多岐な課題に柔軟に対応する能力を養い、国際社会の様々な分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

〔求める学生像〕

1. 様々な国際的な課題に対して柔軟に対応するために必要な幅広い専門知識(法学・政治学、経済学・経営学、文化論)を習得し、異文化理解を深めようという強い意欲をもつ人。
2. 将来、専門知識と外国語を活用して、国際舞台で働き、かつ国際社会の発展に貢献したい人
3. 国際問題や文化摩擦などに関わる専門家や研究者を目指す人。

○日本アジア言語文化専攻

当専攻には、「日本語」「日本文化」「アジア言語文化」の三領域があり、日本とアジアの言語・文化・社会に関する高度な専門教育を提供しています。人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成と、幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成を、教育の基本方針としています。

〔求める学生像〕

1. 研究を遂行するための語学力と基礎知識を持つ者。
2. 日本とアジアの様々な言語・文化に広い関心を持つ者。
3. 日本とアジアの言語・文化・社会に関心を持つ社会人、および留学生。

履修コース

・論文コース

「人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成」を目標とし、広く深い学術的知見の獲得と問題発見・解決能力の育成を目指した指導体制が敷かれています。本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目から30単位以上を取得し、学位論文の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来新たな問題の発見と解決が行える自立した研究者を目指す方を対象としています。

・課題研究コース

「幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成」を目標とし、当該分野の学術的動向の把握、広範な学識の修得、ないし深い異文化理解を目指した指導体制が敷かれています。本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目から30単位以上を取得し、課題研究の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来国際社会において対外的なニーズに即応できる的確な判断力と柔軟に行動できる国際感覚をもった社会人を目指す方を対象としています。

2018年度 修士課程学生募集要項(一般選抜)

1. 募集人員 47名

専攻課程	募集人員	うち第1次	うち第2次
英語学専攻 (語学/文学/通訳翻訳学)	10名	15名程度	10名程度
ロシア語学専攻 (語学/文学)	5名		
中国語学専攻 (語学/文学)	5名		
イスパニア語学専攻 (語学/文学)	5名		
国際関係学専攻 (法律・政治/経済・経営/文化)	10名	5名程度	5名程度
日本アジア言語文化専攻 (日本語/日本文化/アジア言語文化)	12名	6名程度	6名程度

(注1) 志願者が各専攻課程の募集人員に達しない場合でも、選考の結果によっては合格とならない場合があります。

(注2) 第1次募集で募集人員に満たなかった場合、第2次の募集人員を増やすことがあります。

(注3) モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム(英語学専攻・通訳翻訳学)を希望する場合は、第1次募集で出願してください(第2次募集では募集しません)。募集人員は5名です。

(注4) 募集人員には、外国人特別選抜及び社会人特別選抜に基づく入学者選抜による募集人員を含みます。外国人特別選抜については5ページを、社会人特別選抜については10ページをご参照ください。

2. 出願資格(第1次募集、第2次募集共通)

以下の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2018年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2018年3月31日までにその見込みの者
- (3) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者または2018年3月31日までにその見込みの者(※注1)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2018年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2018年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号)
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または2018年3月31日までに修了見込みの者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号)
- (10) 神戸市外国語大学(以下「本学」という。)大学院研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年3月31日までに22歳に達する者(※注2)

- (注1) 出願資格(3)により出願しようとする者は、事前に本学大学院研究科に相談してください。また、(3)に該当する者のうち、外国人留学生については、外国人特別選抜に基づく入学選抜試験で受験することができます。ただし、出願資格(1)、(2)に該当する者は除きます。
- (注2) 出願資格(10)に該当する者とは、以下のいずれかに該当し、かつ個人の能力の個別審査により本学大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者です。
- ① 短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業生、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者または2018年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 大学教育修了までの学校教育課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、学士の学位に相当する学位を有さず、大学教育修了後、日本国内の大学において研究生、研修員等として1年以上研究に従事した者、または2018年3月31日までに従事することになると見込まれる者
- (注3) モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム応募要件
英語学専攻・通訳翻訳学志望で、モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム参加を希望される場合は、出願時点で下記の要件を満たす必要があります。
- ① 学位 英語学、言語学、文学またはそれに相当する学士の学位を有する者またはその見込みの者
 - ② 英語能力 TOEFL iBT® 総合95以上(うちWriting22以上、Reading/Listening/Speaking20以上)または、IELTS Academic Module 総合7以上(うちWriting7以上、Reading/Listening6.5以上、Speaking6以上)
- ※日本語が母語でない者は、応募に先立ち必ず申し出をし、応募要件の確認をしてください。

3. 事前資格審査(出願資格(10)により出願しようとする者のみ)

出願資格(10)により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ本学大学院研究科に申し出て、次の書類を下記の申請期間に提出してください。

ただし、出願資格(10)の②に該当する者のうち、本学大学院研究科において研究生として研究に従事した者は申請する必要はありません。

① 申請書類

(ア) 入学資格審査申請書 本学ホームページからダウンロードも可能です。

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/admissions/graduate/yokosikaku/>

(イ) 研究計画書1部(6ページの4.出願手続(4)出願書類等の⑦を参照してください。)

(ウ) 最終出身学校の卒業証明書(または卒業見込証明書)及び学業成績証明書 各1部
提出要領は5ページの5.出願手続(4)出願書類等の③④の摘要欄を参照してください。

(エ) 審査判定送付返信用封筒(長形3号、縦23.5cm×横12cmに速達用郵便切手362円分を貼付し宛先明記)

② 申請期間

(ア) 第1次入学資格審査 2017年7月3日(月)から7月7日(金)まで【必着】

(イ) 第2次入学資格審査 2017年11月13日(月)から11月17日(金)まで【必着】

※期間後に到着した出願書類のうち、締切りの前日以前の発信局日付印のある書留速達郵便は受け付けます。

③ 申請先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班
書留郵便で郵送(角形2号封筒により表に「修士課程(〇〇専攻) 入学資格審査申請書類在中」と朱書き)

④ 審査結果の通知

申請書類に基づき審査を行います。審査結果については、以下の期日までに本人宛に通知します。出願資格の認定を受けた者は、出願手続を出願期間内に行ってください。

※出願書類中の修了証明書または修了見込証明書、学業成績証明書の提出は不要。)

(ア) 第1次入学資格審査結果 2017年8月11日(金)

(イ) 第2次入学資格審査結果 2017年12月15日(金)

4. 外国人特別選抜

- (1) 本学大学院研究科では、外国人留学生のみを対象とした募集・選抜は行いません。一般選抜の募集人員に外国人留学生を含めて選抜を実施します。
- (2) 国際関係学専攻の法律・政治領域の選抜試験を外国人特別選抜により受験する場合、当該領域の筆答試験において、英語問題が免除されます。外国籍で外国の大学を卒業した者が対象となります。外国籍であっても、日本の大学を卒業した場合は外国人特別選抜の対象となりません。
- (3) 外国人特別選抜により受験する者は、志望する専攻の領域に関する筆答試験または口述(面接)試験において研究に必要な日本語能力が評価されます。

5. 出願手続

志願者は、出願書類を一括し、角形2号の封筒を用いて、**書留速達**で下記の出願期間内に本学に必着するように郵送してください(封筒の表に「**修士課程(○○専攻)入試出願書類在中**」と**朱書き**してください)。

(1) 出願期間

第1次募集 2017年9月4日(月)から9月11日(月)まで【**必着**】

第2次募集 2018年1月9日(火)から1月16日(火)まで【**必着**】

※期間後に到着した出願書類のうち、締切りの前日以前の発信局日付印のある書留速達郵便は受け付けます。

(2) 出願先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

(3) 障がいのある志願者について

障がい※を有する場合、受験上および修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ本学大学院研究科に申し出て、相談を行ってください。

(相談期間) 第1次募集:2017年7月7日(金)まで 第2次募集:2017年11月17日(金)まで

※障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者のことで、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む)その他の心身の機能の障害がある者を指します。

(4) 出願書類等

入学志願者は必要書類等(①～⑤)を一括して郵送してください。(外国人特別選抜共通)

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	本学所定の用紙に志願者本人が記入し、写真を貼り付けてください。 ・志願者は、志望する専攻・履修コースを1つ選んで出願してください。 ・指導教員欄は、希望する指導教員がいれば記入してください。未定の場合は記入する必要はありません。
②	受 験 票	全 員	本学所定の用紙に志願者本人が記入し、写真を貼り付けてください。
③	卒業証明書または卒業見込証明書	全 員 ※本学在学学生・卒業生は不要	出身大学の学長または学部長が作成したもの(厳封) ・外国の学校または機関が発行した証明書等が、日本語または英語以外の言語の場合は、厳封を解いたうえで和文または英文翻訳を添付してください。その際は、出身・所属学校、公的機関、または日本語学校等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。 ・ロシア語学・中国語学・イスパニア語学専攻に出願する場合は、それぞれの専攻の言語で発行された証明書の提出を認めます。(翻訳不要)
④	学業成績証明書		
⑤	学士証書または学士を証明できる証明書	外国の大学を卒業した者	学士証書は、原本を持参または郵送してください。 ・持参の場合、事前に大学院班(受付時間8時30分～12時30分、13時30分～17時15分、土日祝を除く)まで連絡してください。 ・郵送の場合、返送用の封筒(封筒の大きさ・重さに応じた簡易書留相当分の切手を貼り、宛名を記入すること)も同封してください。原本確認後、返送します。

⑥	卒業論文 あるいは レポート	英語学専攻 ロシア語学専攻 中国語学専攻 スペイン語学専攻 の志願者	提出部数:1部(①あるいは②のいずれか) (テーマ、氏名を明記した表紙をつけてください。提出した卒業論文等は返却しません。) ①志望する専攻に関連がある卒業論文を提出できる場合は、その写し ②卒業論文が志望する専攻と関連がない場合、または卒業論文を提出できない場合は、本学の大学院修士課程において専攻しようとする分野に関する「論文またはレポート」を提出してください。特定の課題、テーマを取り上げ、それに関してどのような研究をしているかということをA4判の用紙に10枚程度を上限に記入してください。
		国際関係学専攻 (文化)の第2次 募集志願者及び 日本アジア言語 文化専攻の第2 次募集志願者	提出部数:1部(①あるいは②のいずれか) (テーマ、氏名を明記した表紙をつけてください。提出した卒業論文等は返却しません。) ①志望する専攻に関連がある卒業論文を提出できる場合は、その写し ②卒業論文が志望する専攻と関連がない場合、または卒業論文を提出できない場合は、本学の大学院修士課程において専攻しようとする分野に関する「論文またはレポート」を提出してください。特定の課題、テーマを取り上げ、それに関してどのような研究をしているかということをA4判の用紙に10枚程度を上限に記入してください。
⑦	研究計画書	全 員	提出部数:3部 ・これまでの研究経過を踏まえた上で、今後行う研究テーマについて、その目的・意義・方法等を具体的に述べてください。 ・A4判の用紙に日本語または出願する専攻が指定した言語(下表参照)により、日本語2000字相当(他言語の場合A4判2枚相当)でまとめること。 ・様式は指定しませんが、用紙の右上に氏名、希望する専攻、分野・領域を記入してください。 <研究計画書の作成言語> ・英語学専攻(日本語または英語) ・ロシア語学(日本語またはロシア語) ・中国語学(日本語または中国語) ・スペイン語学(日本語、英語またはスペイン語) ・国際関係学専攻及び日本アジア言語文化専攻(日本語のみ)
⑧	応募用紙 及び TOEFLもしくは IELTSスコア	モナッシュ大学 ダブル・マスター プログラム参加 志望者のみ	英語学専攻・通訳翻訳学領域志望で参加志望者は提出してください。 *応募要件として、下記を満たしている必要があります。 TOEFL iBT® 総合 95 以上(うちWriting22 以上、Reading/Listening/Speaking20 以上)または、IELTS Academic Module 総合 7 以上(うち Writing7 以上、Reading/Listening6.5 以上、Speaking6 以上)
⑨	長期履修申請書	希望者のみ (留学生除く)	職業を有し就業している等により長期にわたる教育課程の履修を希望する者は必ず提出してください。口述(面接)試験の際に、希望理由等について質問を行い、審査を行います(13 ページ参照)
⑩	入学選抜料	全 員	26,000円 ・郵便局の窓口で、願書受付一週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 *ATM(現金自動預入払出機)での振込みはしないでください。 ・必ず郵便局の日付印が押された【振替払込受付証明書(お客さま用)】を同封の貼付書に貼り付けて提出してください。 ・入学選抜料が振込まれていない場合や、【振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けていない場合、または【同受付証明書】に郵便局の日付印がない場合は、願書は受理しません。
⑪	受験票返送用封筒	全 員	本学所定の封筒に返信先を明記し、切手362円分を貼り付けてください。

(注1) 出願書類等が不備の場合は受け付けません。

(注2) 出願書類提出後は、いかなる理由があっても提出書類の変更を認めません。

(注3) 出願書類等に虚偽の記載が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(注4) 既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。

- a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合
- b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合
- c. 重複して入学選抜料の払い込みをした場合

上記のaからcに該当する場合は、必ず出願締切日から1カ月以内に本学経営企画グループ財務班(受付時間 8時30分～12時30分、13時30分～17時15分、土日祝を除く)に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。(TEL:078-794-8123)
なお、返還金は振込手数料を差し引いた金額となります。

(注5) 出願後に住所等を変更された場合は、必ず本学研究所グループ大学院班に連絡し、変更の手続きを行ってください。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と学力試験の結果を総合して行います。

(1) 学力試験 (会場 神戸市外国語大学 学舎)

日 時 第1次募集 2017年10月14日(土)

第2次募集 2018年2月17日(土)

(2) 選抜試験の内容

・第1次募集

	筆 答 試 験(200点)	口述(面接)試験(100点) ※専攻・領域により専攻する言語で行う場合あり
	10:00～12:30(150分)	14:00～
英語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に据え、専攻する分野に関連する論文またはレポートに関する評価も交えながら試問を行います。	
ロシア語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	基礎的な語学力、専門領域に関する知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻する分野に関連する論文またはレポート及び研究計画書を中心に試問を行います。	
中国語学専攻 イスパニア語学 専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻しようとする分野に関連する論文またはレポートと、研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (法律・政治)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。ただし、外国人特別 選抜は英語の問題を含みません。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (経済・経営)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、外国語の問題(英語、ドイツ語、フランス語、 イスパニア語から選択)を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び論述能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
日本アジア言語 文化専攻 (日本語、日本文化)	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
日本アジア言語 文化専攻 (アジア言語文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	

・第2次募集

	筆 答 試 験(200点)	口述(面接)試験(100点) ※専攻・領域により専攻する言語で行う場合あり
	10:00～12:30(150分)	14:00～
英語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻する分野に関連する卒業論文あるいはそれに代わる論文またはレポートと研究計画書を中心に試問を行います。	
ロシア語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻する分野に関連する卒業論文および研究計画書を中心に試問を行います。	
中国語学専攻 イスパニア語学 専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	研究に関する問題意識と研究意欲、適性などを重視し、口述(面接)試験においては専攻しようとする分野に関連する卒業論文等の研究成果と、研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (法律・政治)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。ただし、外国人特別 選抜は英語の問題を含みません。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (経済・経営)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、外国語の問題(英語、ドイツ語、フランス語、 イスパニア語から選択)を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	希望する研究内容に関する問題意識を重視し、口述(面接)試験においては卒業論文又はそれにかかわる レポート等、及び研究計画書を中心に試問を行います。	
日本アジア言語 文化専攻 (日本語、日本文化)	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識・研究能力のほか、これまでの研究の経過や研究計画書を 中心に口述試験では総合 的な試問を行います。なお、大学院での研究計画 に関連する卒業論文あるいはレポートをす でに執筆している方は それも合わせて可否の判断材料とします。	
日本アジア言語 文化専攻 (アジア言語文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識・研究能力のほか、これまでの研究の経過や研究計画書を 中心に口述試験では総合 的な試問を行います。なお、大学院での研究計画 に関連する卒業論文あるいはレポートをす でに執筆している方は それも合わせて可否の判断材料とします。	

7. 合格発表

日 時 第1次募集 2017年10月19日(木) 午前10時
第2次募集 2018年2月22日(木) 午前10時

本学本部棟前の掲示板、本学ホームページへの合格者受験番号の掲示、掲載とともに、受験者全員に可否通知を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学金を納入するとともに所定の書類を提出してください。(郵送可)

(1) 手続日時

第1次募集 2017年10月31日(火) 午後2時～午後4時
第2次募集 2018年3月15日(木) 午前10時～12時 および 午後1時～3時

(注1) 指定日に入学手続きを行わない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続きは原則として認めません。

(注2) 入学手続き完了後は、いかなる理由があっても納入された入学金は返還しません。

(2) 提出書類

詳細は合格通知に同封します。

9. 入学必要経費

(1) 入学金(入学手続きに必要な経費)及び授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 金	(神戸市民及びその子弟) 297,000円	神戸市民とは、入学の日(4月1日)の1年前から引き続き本市に住所を有する者をいいます。 その子弟とは、本市民の配偶者、または、その2親等内の親族をいいます。
	(上記以外の方) 423,000円	
授 業 料	(年額) 535,800円	年2回分納(4月・10月納付) 267,900円

(注1) 消費税の改正等により上記の金額は、改定される場合があります。

在学中に授業料の改定を行ったときは、改定時から新授業料を適用します。

(2) 入学金以外で入学時に納付をお願いしている経費

種 別	金 額	備 考
神戸市外国語大学 同窓会(楠ヶ丘会)会費	25,000円	(入会金として) 25,000円
神戸市外国語大学 伸 興 会 会 費	2年分 40,000円	(入会金として) 20,000円 (会費として) 20,000円
学生教育研究災害 傷 害 保 険 料		(保険料として) 1,750円

(注1) 同窓会(楠ヶ丘会)会費(25,000円)・伸興会入会金(20,000円)は、本学卒業生で在学時に入会されていた場合は不要です。

10. 入学時期

2018年4月 (ただし、モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム参加者は2018年2月となります。)

※入学式の日時等詳細は、合格通知時に案内します。

2018年度 修士課程学生募集要項(社会人特別選抜)

1. 募集人数

各専攻 若干名 ただし、英語学専攻(通訳翻訳学領域)除く

- ・一般入試募集人員に含まれます。
- ・専攻別の人員数は 5 ページの一般入試募集人員にて確認ください。
- ・志願者が各専攻課程の募集人員に達しない場合でも、選考の結果によっては合格とならない場合があります。
- ・第1次募集で募集人員に満たなかった場合、第2次の募集人員を増やすことがあります。

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ10年以上の社会人経験を有すること(家事専従者含む)

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2018年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2018年3月31日までにその見込みの者
- (3) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者または2018年3月31日までにその見込みの者(※注1)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2018年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2018年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号~第4号)
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または2018年3月31日までに修了見込みの者(昭和28年文部省告示第5号第5号~第12号)
- (10) 神戸市外国語大学(以下「本学」という。)大学院研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(※注2)

(注1) 出願資格(3)により出願しようとする者は、事前に本学大学院研究科に相談してください。また、(3)に該当する者のうち、外国人留学生については、外国人特別選抜に基づく入学選抜試験で受験することができます。ただし、出願資格(1)、(2)に該当する者は除きます。

(注2) 出願資格(10)に該当する者とは、以下のいずれかに該当し、かつ個人の能力の個別審査により本学大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者です。

- ① 短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業生、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者または2018年3月31日までに修了見込みの者
- ② 大学教育修了までの学校教育課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、学士の学位に相当する学位を有さず、大学教育修了後、日本国内の大学において研究生、研修員等として1年以上研究に従事した者、または2018年3月31日までに従事することになると見込まれる者

3. 事前資格審査

出願資格(10)に該当する場合は、事前資格審査が必要になります。

審査が必要となるのは、「短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者」で「10年以上の社会人経験(家事専従含む)のある者」です。

申請方法は4ページをご覧ください。

4. 出願手続

出願書類を一括し、角形2号の封筒を用いて、**書留速達**で下記の出願期間内に本学に必着するように郵送してください(封筒の表に「**修士課程(〇〇専攻)入試出願書類在中**」と**朱書き**してください)。

(1) 出願期間

第1次募集 2017年9月4日(月)から9月11日(月)まで【**必着**】

第2次募集 2018年1月9日(火)から1月16日(火)まで【**必着**】

ただし、期限後に到着した出願書類のうち、締切りの前日以前の発信局日付印のある書留速達郵便の場合は受け付けません。

(2) 出願先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

(3) 障がいのある志願者について

障がい※を有する場合、受験上および修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ本学大学院研究科に申し出て、相談を行ってください。

(相談期間) 第1次募集:2017年7月7日(金)まで 第2次募集:2017年11月17日(金)まで

※障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者のことで、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む)その他の心身の機能の障害がある者を指します。

(4) 出願書類

各書類の提出要件等は、5～6ページ(一般選抜出願書類)にて確認ください。

- ① 入学願書
- ② 受験票
- ③ 卒業証明書又は卒業見込証明書 *本学在学学生及び卒業生は不要
- ④ 学業成績証明書 *本学在学学生及び卒業生は不要
- ⑤ 学士証書または学士を証明できる証明書(外国の大学を卒業した者のみ)
- ⑥ 卒業論文等 希望する専攻により要件が異なります。
- ⑦ 研究計画書 希望する専攻により要件が異なります。
- ⑧ 長期履修申請書(希望者のみ)
- ⑨ 入学選抜料
- ⑩ 受験票返送用封筒

(注1) 出願書類等が不備の場合は受け付けません。

(注2) 出願書類提出後は、いかなる理由があっても提出書類の変更を認めません。

(注3) 出願書類等に虚偽の記載が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(注4) 既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。

- a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合
- b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合
- c. 重複して入学選抜料の払い込みをした場合

上記のaからcに該当する場合は、必ず出願締切日から1カ月以内に本学経営企画グループ財務班(受付時間8時30分～12時30分、13時30分～17時15分、土日祝を除く)に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。

(TEL:078-794-8123) なお、返還金は振込手数料を差し引いた金額となります。

(注5) 出願後に住所等を変更された場合は、必ず本学研究所グループ大学院班(受付時間8時30分～12時30分、13時30分～17時15分、土日祝を除く)に連絡し、変更の手続きを行ってください。(TEL:078-794-8238)

5. 選抜方法

出願書類と学力試験の結果を総合して行います。

なお、筆答試験と口述（面接）試験の配点は一般入試と異なり、口述（面接）試験を重視します。

（筆答試験 150 点、口述試験 150 点）

試験における評価の視点は一般選抜と同様です（7～8ページ参照）。

6. 合格発表

日 時 第1次募集 2017年10月19日（木） 午前10時

第2次募集 2018年2月22日（木） 午前10時

本学本部棟前の掲示板、本学ホームページへの合格者受験番号の掲示、掲載とともに、受験者全員に可否通知を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学金を納入するとともに所定の書類を提出してください。（郵送可）

(1) 手続日時

第1次募集 2017年10月31日（火） 午後2時～午後4時

第2次募集 2018年3月15日（木） 午前10時～12時 および 午後1時～3時

（注1）指定日に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続は原則として認めません。

（注2）入学手続完了後は、いかなる理由があっても納入された入学金は返還しません。

(2) 提出書類

詳細は合格通知に同封します。

8. 入学必要経費

(1) 入学金(入学手続に必要な経費)及び授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 金	(神戸市民及びその子弟) 297,000円	神戸市民とは、入学の日(4月1日)の1年前から引き続き本市に住所を有する者をいいます。 その子弟とは、本市民の配偶者、または、その2親等内の親族をいいます。
	(上記以外の方) 423,000円	
授 業 料	(年額) 535,800円	年2回分納(4月・10月納付) 267,900円

(注1) 消費税の改正等により上記の金額は、改定される場合があります。

在学中に授業料の改定を行ったときは、改定時から新授業料を適用します。

(2) 入学金以外で入学時に納付をお願いしている経費

種 別	金 額	備 考
神戸市外国語大学 同窓会(楠ヶ丘会)会費	25,000円	(入会金として) 25,000円
神戸市外国語大学 伸 興 会 会 費	2年分 40,000円	(入会金として) 20,000円 (会費として) 20,000円
学生教育研究災害 傷 害 保 険 料		1,750円

(注2) 同窓会(楠ヶ丘会)会費(25,000円)・伸興会入会金(20,000円)は、本学卒業生で在学時に入会されていた場合は不要です。

9. 入学時期

2018年4月 ※入学式の日時等詳細は、合格通知時に案内します。

長期履修学生制度について

職業等を有する等の事情により、研究・学習活動の時間に制約があり、標準修業年限(修士課程 2 年、博士課程 3 年)では修了することが難しいため、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

■対象者

入学を許可され、以下の理由により就学時間が制限される者

- ① 職業を有し、就業している
- ② 家事、育児、介護等の事情を有する
- ③ その他やむを得ない事情により標準修業年限で修了することが困難である

※留学生(留学ビザ取得(見込)者)は対象外です。

■長期履修期間

標準修業年限(修士課程 2 年、博士課程 3 年)を越えた場合で、在学年限の範囲内(修士課程 4 年、博士課程 6 年)で、1 年単位

※4 月を始期とします。休学の期間は含みません。

■授業料

標準修業年限分の授業料総額に相当する額を、長期履修期間に応じて納付してください。

(長期履修に授業料年額＝通常の授業料年額×標準修業年限÷長期履修許可年限)

(例) 修士課程で、長期履修期間 4 年の場合

授業料年額＝535,800円×2 年÷4 年＝267,900円

※在学中に授業料の改訂がある場合は再計算を行います。

※長期履修期間を短縮した場合は、授業料の総額は変わりませんが、差額納付が生じます。

■申請方法

出願時に、申請書(長期履修申請書)と、在職証明書等長期履修が必要であると証明できる書類を添えて申請してください。

口述(面接)試験の際に、希望理由等について質問を行い、審査を行います。

※内容確認のため、追加で書類の提出を求められることがあります。

※入学後に申請の受付は行いません。

■可否の決定

申請書類をもとに審査を行い、研究科会議の議を経て学長が決定します。

合格発表と同時に郵送にて通知します。

■履修期間の変更

長期履修期間中に状況の変化により、当初履修期間を短縮する場合は、1 年単位で短縮することができます。指導教員の下承を得て長期履修期間短縮申請書により申請を行い、研究科会議の審議を経て学長が決定します。

※履修期間は延長できません。変更手続きは在学中 1 回のみです。

履修コース及び単位取得方法

英語教育学専攻を除く6専攻において、2014年度より従来の修士課程を改編し、新たに「論文コース」と「課題研究コース」を設置しました。志願者は修了後の進路に合わせて、出願時にいずれかのコースを選択します。

履修コース

・論文コース

論文コースは、本学大学院教育の理念の1つである「人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成」を目標とし、広く深い学術的知見の獲得と問題発見・解決能力の育成を目指した指導体制が敷かれています。本コースの学生は、本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目(別表参照)から30単位以上を取得し、学位論文の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来新たな問題の発見と解決が行える自立した研究者を目指す方を対象としています。

・課題研究コース

課題研究コースは、本学大学院教育の理念の1つである「幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成」を目標とし、当該分野の学術的動向の把握、広範な学識の修得、ないし深い異文化理解を目指した指導体制が敷かれています。本コースの学生は、本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目(別表参照)から30単位以上を取得し、課題研究の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来国際社会において対外的なニーズに即応できる的確な判断力と柔軟に行動できる国際感覚をもった社会人を目指す方を対象としています。

単位取得方法

以下の要領により、30単位以上を取得します。なお、本学大学院外国語学研究科修士課程と神戸大学大学院人文科学研究科(博士課程前期課程)との間における学生交流協定に基づき、相互の授業を10単位を限度に履修することができます。

	専攻	専攻課程の授業科目 (別表1・3・4)	指定授業科目 (別表5)	共通授業科目 (別表2)	他の専攻課程		(別表6)	学部・第2部 授業科目
					関連言語	授業科目		
論文コース	英語学	別表1 20単位以上	—	年度が変われば同じ科目を再度履修できるが、修了必要単位数への算入不可	履修可、修了必要単位数への算入不可	履修可、修了必要単位数への算入不可	履修可、修了必要単位数への算入不可	
	ロシア語学 中国語学 イスパニア語学	別表1 16単位以上						8単位以上
	国際関係学	別表3 主領域12単位以上	—	12単位まで修了必要単位数への算入可				
	日本アジア言語文化	別表4 主領域18単位以上 主領域以外8単位以上	4単位以上	履修可、修了必要単位数への算入不可				
課題研究コース	英語学	別表1 12単位以上	—	18単位まで修了必要単位数への算入可	履修可、修了必要単位数への算入不可	4単位まで修了必要単位数への算入可	履修可、修了必要単位数への算入不可	
	ロシア語学 中国語学 イスパニア語学			18単位まで修了必要単位数への算入可		8単位まで修了必要単位数への算入可		
	国際関係学	別表3 主領域12単位以上	—	18単位まで修了必要単位数への算入可				
	日本アジア言語文化	別表4 主領域12単位以上	4単位以上	14単位まで修了必要単位数に算入可				

授業科目

別表1	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位	備 考
英語学専攻	英語学研究 1・2	2・2	メディア通訳研究 1・2	2・2	(論文コース)
	英語学演習 1・2	2・2	放送通訳分析 1・2	2・2	左記の授業科目から20
	英米文学研究 1・2	2・2	翻訳理論研究 1・2	2・2	単位以上履修すること。
	英米文学演習 1・2	2・2	翻訳分析 1・2	2・2	(課題研究コース)
	英米文化研究 1・2	2・2	コミュニケーション学研究 1・2	2・2	左記の授業科目から12
	通訳理論研究 1・2	2・2	通訳翻訳特別研究 1・2	2・2	単位以上履修すること。
	会議通訳分析 1・2	2・2			
ロシア語学 専攻 <関連言語>	ロシア語学研究 1・2	2・2	ロシア文学演習 1・2	2・2	(論文コース)
	ロシア語学演習 1・2	2・2	ロシア文化研究 1・2	2・2	左記の授業科目から16
	ロシア文学研究 1・2	2・2			単位以上履修すること。
	東欧諸言語 1・2	1・1			(課題研究コース)
	ポーランド語 1・2	1・1			左記の授業科目から12 単位以上履修すること。
中国語学 専攻 <関連言語>	中国語学研究 1・2	2・2	中国文学演習 1・2	2・2	(論文コース)
	中国語学演習 1・2	2・2	中国文化研究 1・2	2・2	左記の授業科目から16
	中国文学研究 1・2	2・2			単位以上履修すること。
	呉語 1・2	1・1			(課題研究コース)
	広東語 1・2	1・1			左記の授業科目から12 単位以上履修すること。
イスパニア語 学専攻 <関連言語>	イスパニア語学研究 1・2	2・2	イスパニア文学演習 1・2	2・2	(論文コース)
	イスパニア語学演習 1・2	2・2	イスパニア文化研究 1・2	2・2	左記の授業科目から16
	イスパニア文学研究 1・2	2・2	中南米文化研究 1・2	2・2	単位以上履修すること。
	ポルトガル語 1・2	1・1			(課題研究コース)
					左記の授業科目から12 単位以上履修すること。

別表2	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位	備 考	
共通授業科目	(古)ギリシャ語 1・2	1・1	外国語教授法研究 1・2	2・2	(論文コース)	
	(古)ラテン語 1・2	1・1	総合情報科学Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	ロシア語学・中国語学・	
	(研)ロシア語	1	*文化比較研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	イスパニア語学専攻の	
	(研)中国語	1	*文化芸術論研究 1・2	2・2	者は、左記の授業科目	
	(研)イスパニア語	1	*西洋古典学研究 1・2	2・2	から8単位以上履修す	
	(研)フランス語	1	*ヨーロッパ文学研究Ⅱ 1・2	2・2	ること。	
	(研)ドイツ語	1	*ヨーロッパ社会研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		(課題研究コース)	
	(研)イタリア語Ⅰ・Ⅱ 1・2	1・1		1・2	2・2	左記の授業科目から18
	(研)東洋諸語 1・2	1・1	*近代ヨーロッパ地域研究 1・2	2・2	2・2	単位までは、修了必要
	言語学特殊研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	1・1	*近代比較地域史研究 1・2	2・2	2・2	単位として算入可能。
	上級日本語 1・2	2・2				

(注) 共通授業科目のうち*印のついた科目は、際関係学専攻の授業科目と共通。

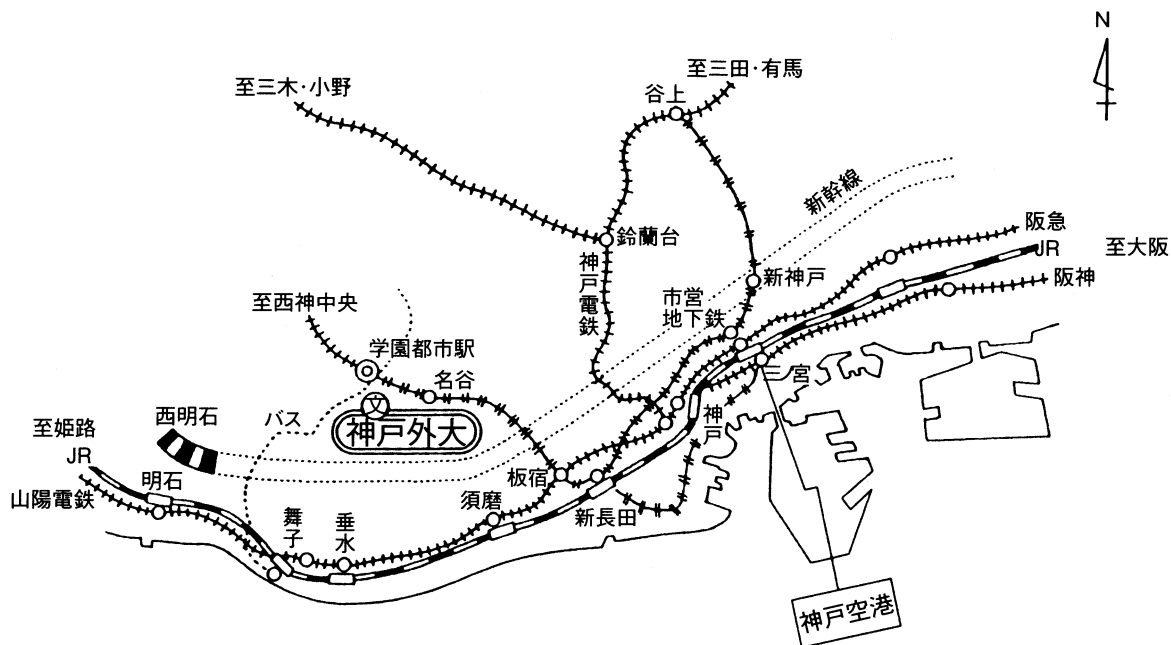
別表3		授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位	備 考	
国 際 関 係 学 専 攻	法 律 ・ 政 治	国際協力演習 1・2	1・1	第三世界論研究 1・2	2・2	法律・政治の領域を主として専攻する学生については、国際協力演習4単位(2単位×2年)は必修とする。	
		国際協力と国際政治 1・2	2・2	国際取引法研究 1・2	2・2		
		国際協力と国際法 1・2	2・2	比較商事法研究 1・2	2・2		
		比較政治学研究 1・2	2・2	比較公法研究 1・2	2・2		
		経済・経営	経済開発演習 1・2	1・1	比較企業経営システム論 1・2		2・2
	経済開発と地域研究 1・2	2・2	企業会計論1・2	2・2			
		国際経済論研究 1・2	2・2	数量経済分析研究1・2	2・2		
		国際金融論研究 1・2	2・2	国際経済政策研究 1・2	2・2		
		国際商務論研究 1・2	2・2	産業組織論研究 1・2	2・2		
	文 化	異文化演習 1・2	1・1	ヨーロッパ文学研究Ⅱ 1・2	2・2		文化の領域を主として専攻する学生については、異文化演習4単位(2単位×2年)は必修とする。
		文化比較研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	ヨーロッパ社会研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1・2		
		文化芸術論研究 1・2	2・2	近代ヨーロッパ地域研究 1・2	2・2		
		中南米社会研究 1・2	2・2	近代比較地域史研究 1・2	2・2		
		西洋古典学研究 1・2	2・2				

別表4		授 業 科 目 名	単 位	備 考		
日 本 ア ジ ア 言 語 文 化 専 攻	日 本 語	日本語研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	日本語の領域を主として専攻する学生については、日本語研究Ⅰ・4単位、日本語研究Ⅱ・4単位、日本語演習4単位は必修とする。		
		日本語演習 1・2	2・2			
		日本語特殊講義 1・2	2・2			
	日 本 文 化	日本思想研究 1・2	2・2		日本文化の領域を主として専攻する学生については、日本思想研究4単位、日本文化史演習4単位は必修とする。	
		日本文化史演習 1・2	2・2			
		日本文化史特殊講義 1・2	2・2			
	ア ジ ア 言 語 文 化	アジア言語研究 1・2	2・2			アジア言語文化の領域を主として専攻する学生については、アジア言語研究4単位、アジア言語演習4単位、アジア文化研究4単位は必修とする。
		アジア言語演習 1・2	2・2			
		アジア文化研究 1・2	2・2			
		アジア文化特殊講義 1・2	2・2			

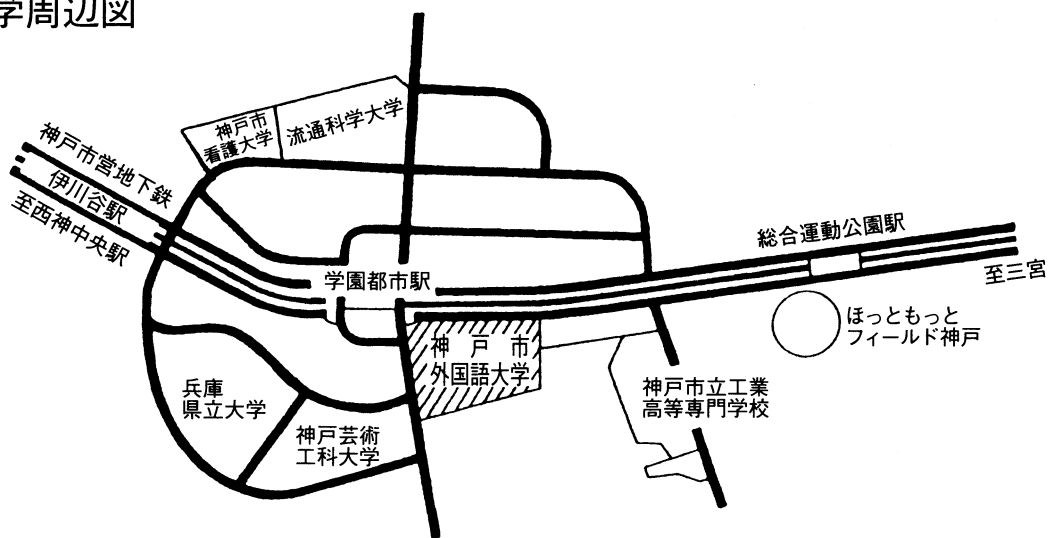
別表5		授 業 科 目 名	単 位	備 考
日 本 ア ジ ア 言 語 文 化 専 攻	言語学特殊研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	左記の授業科目から4単位以上履修すること。	
	上級日本語 1・2	2・2		
	文化比較研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2		

別表6	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位
課 題 研 究 共 通 科 目	英語学基礎演習 1・2	2・2	国際取引法・総論	2
	イギリス文学テキスト分析 1・2	2・2	国際取引法・各論	2
	ロシア語学特殊研究 1・2	2・2	開発経済論(課題研究) 1・2	2・2
	ロシア文学特殊研究 1・2	2・2	国際商務論(課題研究) 1・2	2・2
	ロシア文化特殊研究 1・2	2・2	産業組織の経済学(課題研究) 1・2	2・2
	中国語学特殊研究 1・2	2・2	文化芸術論特講 1・2	2・2
	中国文学特殊研究 1・2	2・2	言語学研究「第1」 1・2	2・2
	中国文化特殊研究 1・2	2・2	言語学研究「第2」 1・2	2・2
	イスパニア語学特殊研究 1・2	2・2	日本語文法の研究 1・2	2・2
	ラテンアメリカ文学特殊研究 1・2	2・2	日本語音声の研究 1・2	2・2
	政治体制論・総論	2	日本文化論「第1」	2
	政治体制論・各論	2	日本文化論「第2」	2
	途上国地域社会論・総論	2	日本語学「第1」 1・2	2・2
	途上国地域社会論・各論	2	日本語学「第2」 1・2	2・2
	国際法・総論1・2	2・2	日本語学「第3」 1・2	2・2
	国際法・各論 1・2	2・2		

試験場案内図



◎大学周辺図



- 新幹線新神戸駅から市営地下鉄で約30分
- 「神戸空港」から「三ノ宮」までポートライナーで約18分
- 三ノ宮駅から市営地下鉄で約25分
- 舞子駅から（市バス）53、54系統で約25分
- 垂水駅から（市バス）48、171系統で約30分

学園都市駅下車
徒歩約3分



【問 合 せ 先】

〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1

神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

TEL: 078-794-8238 FAX: 078-794-8160 e-mail: grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp

受付時間 8時30分～12時30分、13時30分～17時15分、土日祝を除く)

ホームページ: <http://www.kobe-cufs.ac.jp>

※シラバスは「本学ホームページ → シラバス検索」を参照してください。